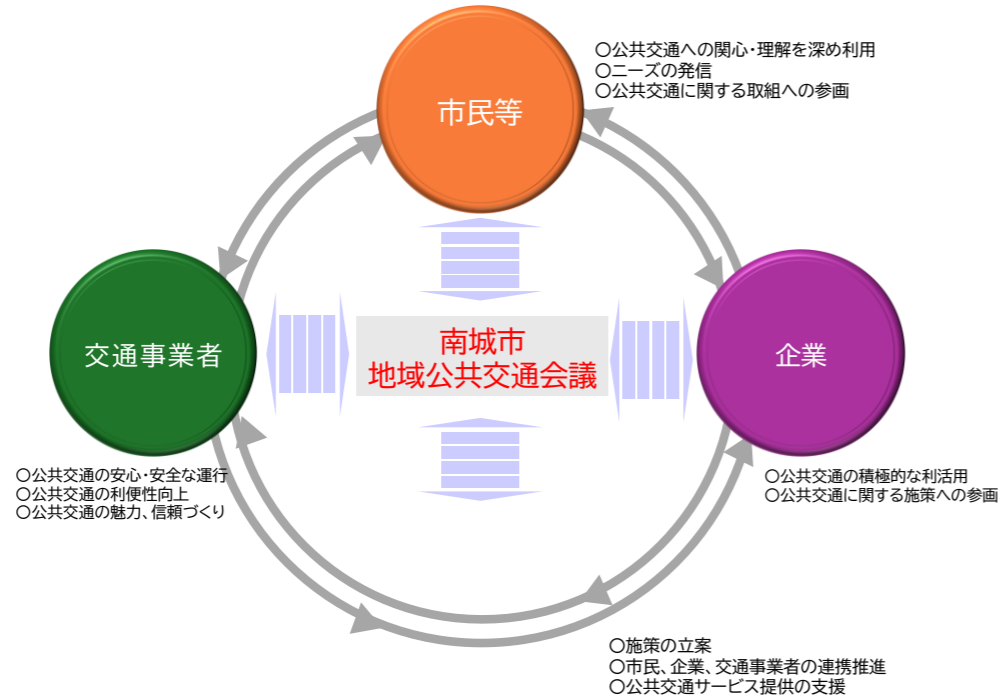


4. 計画の推進

南城市における計画の進捗をマネジメント(管理)する主体は、「南城市地域公共交通会議」です。

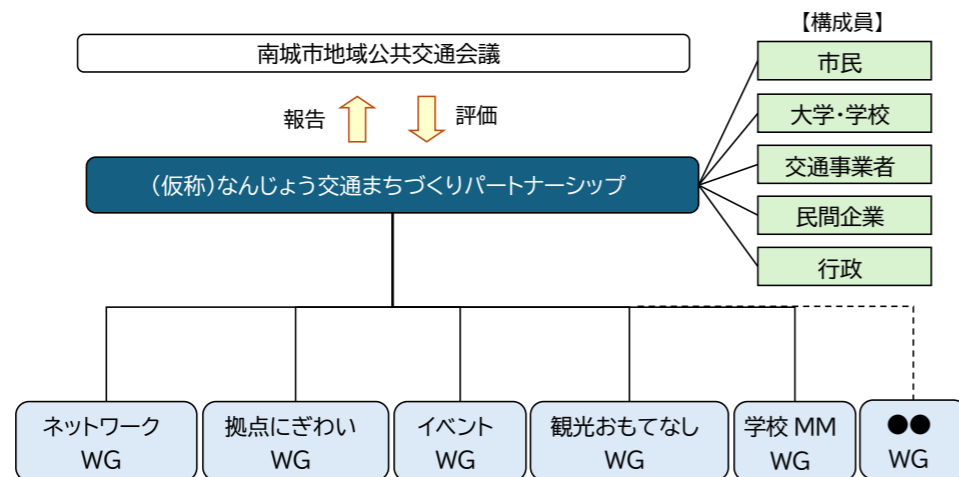
本計画は、以下に示す取組推進の考え方に基づき、行政と住民がともに公共交通に対する意識を共有化し、単に評価をすることに留まらず、より良い地域公共交通への改善に向けて官民協働のもと取り組むことを目的とします。



「南城市地域公共交通会議」のもと、地域が一体となった取組推進を図るため、「(仮称)なんじょう交通まちづくりパートナーシップ」を立ち上げ、行政と交通事業者のみならず、観光や福祉などの分野と情報共有・意見交換を行いつつ、官民が連携した公共交通の取組を推進します。

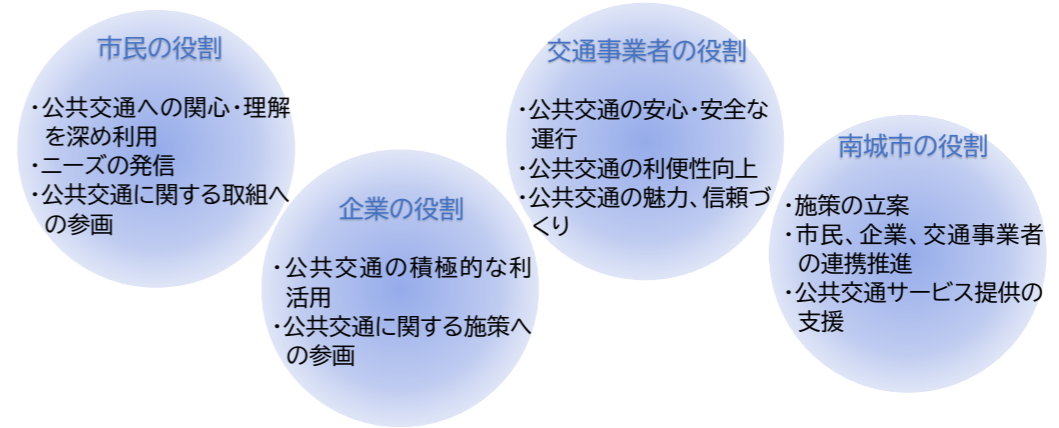
なお、「(仮称)なんじょう交通まちづくりパートナーシップ」は、本計画の「マネジメント・モニタリングチーム」の役割を担います。進捗管理にあたっては、キャッシュレス決済や、乗降カメラ等で収集されるモビリティデータも活用し、データに基づいた施策を推進します。

また、計画の進捗管理のみならず、改善に向けて今後の公共交通のあり方や、次年度以降の取組についての検討も継続的に実施します。



南城市地域公共交通計画 概要版

本計画は、市民、企業、交通事業者、南城市の役割分担のもと、地域が連携して公共交通を維持し、そのための利用促進や利便性向上を図るために作成しました。



1. 計画の概要

1-1.対象区域

本計画は、南城市全域を対象とします。

1-2.計画期間

本計画の計画期間は、2026(令和8)年から2030(令和12)年の5年間とします。

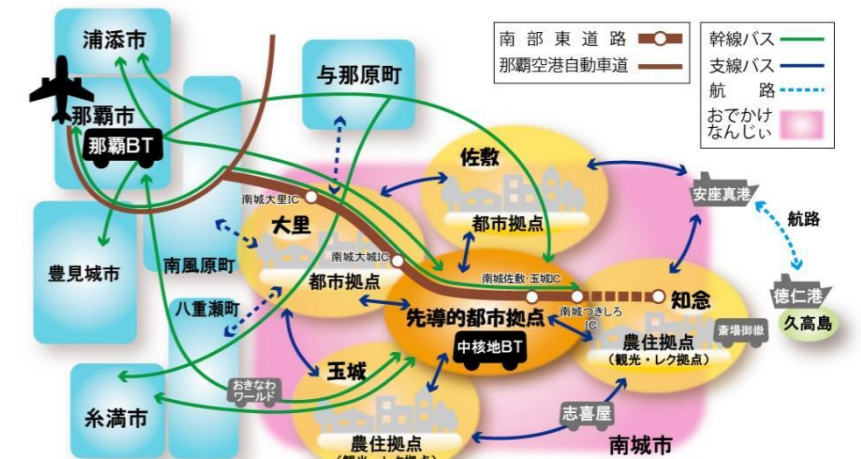
2. 地域交通が目指す姿

基本理念
暮らしを支え、
にぎわいを生み出し、
まちのみんなで未来へつなぐ
持続可能な公共交通

- 市中央部(IC周辺)の先導的都市拠点(中核地)を核に、公共交通網を形成。
- 南部東道路や那覇空港自動車道を介して、那覇空港などの市外を連絡。
- 中核地(バスターミナル)と那覇市等の市外を路線バスで連絡。
- 大里地域から、市外(隣接自治体)への交通結節点へNバス等で連絡。
- 市内は、中核地(バスターミナル)と市内の各拠点間を結ぶNバスで連絡。
- 路線バス、Nバスでの対応が難しいエリアの移動は、「おでかけなんじい」が担う。

取組推進の考え方

- まちのみんなで公共交通を守り、育てていく
地域(住民・利用者・企業等)が主体的にかかわる取組を推進
- 共創による公共交通の利活用
教育、福祉、観光、商業など様々な分野と共創により取組を推進



3. 南城市地域公共交通計画の体系

